



ハイポネックス粉末液肥

N P K
WSF 12-0-17 + 微量元素 + カルシウム

各種微量元素を含む高純度粉末液肥です。
カルシウムを14%含み、春先、夏前、冬前など定期的なカルシウムの補給に便利です。
更にカリを多く含む為、丈夫で頑強な芝生に育ちます。

| [登録保証値] | 12-0-17 | | |
|----------|---------|-------|---|
| ・硝酸性窒素 | | 12.0 | % |
| ・水溶性加里 | | 17.0 | % |
| ・水溶性苦土 | | 1.0 | % |
| ・水溶性マンガン | | 0.050 | % |
| ・水溶性ほう素 | | 0.010 | % |

その他成分

| | | | |
|--------------|-------|-------|---|
| ・鉄 (Fe) | | 0.13 | % |
| ・銅 (Cu) | | 0.003 | % |
| ・亜鉛 (Zn) | | 0.003 | % |
| ・モリブデン (Mo) | | 0.001 | % |
| ・カルシウム (CaO) | | 14.0 | % |

| | |
|-----------|----------------|
| 商品名 | WSF 12-0-17 |
| 正味重量 | 10kg |
| 施肥面積 (1袋) | 約10,000~1,428㎡ |

WSFは Water Soluble Fertilizer(水溶性肥料)の略です



[特長]

- ゴルフ場のグリーン、ティー、競技場、公園緑地、校庭緑化などの芝生に使えます。
- 速効性の硝酸性窒素を供給し、芝生の葉色を素早く鮮やかにします。
また硝酸性窒素は、根からの吸収に優れ、曇天時や低温時でも芝生への吸収効率が高まります。
- カルシウムの働きにより、芝生体内での生理的作用促進と、細胞壁が強化されます。
また、土壌の塩基バランスを維持かつ改善し、根の伸長を助けます。
- 各種微量元素が、芝生のストレスからの回復を助け健全な生育を促します。
- 溶解性が高く、沈殿しにくいので散水ノズルの目詰まりも少なく作業性に優れています。
少水量・高濃度施用にも適応します。(1㎡あたりに施用する希釈液の水量が30~100ml)

[使用方法]

1. 水に希釈して使用し、希釈液をスプレーヤーや散水機器で施用します。
***根から吸収させる場合** 1㎡当りの施肥量は1gから7gで、希釈液を1㎡当り60ml～500ml 散布します。
 1㎡当りの窒素成分量は0.5gを目安にし、状況に応じて施肥量・希釈液の散布量を調整します。
***葉面散布の場合** 1㎡当りの施肥量は1.0g～3.0gで、希釈液を1㎡当り30ml～60ml 噴霧します。
2. 芝生の生育期間中はいつでも使用できます。
 霜が降りるような低温時や、乾燥が激しい芝地や高温時の施肥は避けてください。
葉面散布の場合、肥料焼けを防ぐために高温時や日照が強い時の施用は避けてください。

[希釈方法]

1. 予め原液を作って肥料を完全に溶かします。原液は10倍以上で希釈すると溶けやすくなります。
 水温が低いと肥料が溶けにくい場合がありますが、ぬるま湯を使用すると容易に溶けます。
2. タンク内で原液と水を混合して使用濃度に調整します。

[施肥をおすすめする時期]

| 春 | 梅雨前 | 夏 | 秋 | 冬 |
|---|-----|-------|---|-------|
| ◎ | ◎ | ◎ *注1 | ◎ | △ *注2 |

*注1 特にベント芝などの寒地型芝草の夏場の施肥は施肥量を少なくし、必ずお試しのうえご使用ください。

*注2 温暖地で低温でも芝生が生育しているときは施肥可能です。
 霜が降りるような低温時や凍った芝地へは施肥しないでください。

[施肥量]

| WSF 12-0-17 | | | 1㎡当り 希釈液の散布量 | | | | | | | |
|-------------|---------------|--------------|--------------|--------------------|---------|--------------------|----------|--------------------|----------|--------------------|
| | | | 葉面散布 | | | | 根から吸収 | | | |
| 1㎡当り 施肥量 | 1㎡当り 窒素成分量 | 1袋当り 施肥面積 | 40mlの場合 | | 60mlの場合 | | 100mlの場合 | | 500mlの場合 | |
| | | | 倍率 | 1,000ℓタンク 肥料混合量 | 倍率 | 1,000ℓタンク 肥料混合量 | 倍率 | 1,000ℓタンク 肥料混合量 | 倍率 | 1,000ℓタンク 肥料混合量 |
| 1g | 0.12g | 10,000㎡ | 40倍 | 25.0kg | 60倍 | 16.6kg | 100倍 | 10.0kg | 500倍 | 2.0kg |
| 2g | 0.24g | 5,000㎡ | 20倍 | 50.0kg | 30倍 | 33.3kg | 50倍 | 20.0kg | 250倍 | 4.0kg |
| 3g | 0.36g | 3,330㎡ | 13倍 | 75.0kg | 20倍 | 50.0kg | 33倍 | 30.0kg | 166倍 | 6.0kg |
| 4g | 0.48g | 2,500㎡ | — | — | 15倍 | 66.6kg | 25倍 | 40.0kg | 125倍 | 8.0kg |
| 5g | 0.60g | 2,000㎡ | — | — | 12倍 | 83.3kg | 20倍 | 50.0kg | 100倍 | 10.0kg |
| 6g | 0.72g | 1,666㎡ | — | — | 10倍 | 100.0kg | 16.6倍 | 60.2kg | 83.3倍 | 12.0kg |
| 7g | 0.84g | 1,428㎡ | — | — | 8.5倍 | 117.6kg | 14.2倍 | 70.4kg | 71.4倍 | 14.0kg |

表の見方: 窒素0.48g/㎡を施肥するには、WSF12-0-17が4g/㎡必要です。

希釈液500ml/㎡散布の場合、125倍に希釈します。

注意: ①根から吸収させる施肥で、1㎡当り60～100mlの少水量・高濃度施用の場合、肥料焼けを防ぎ、根からの吸収を促すために施用後直ぐに散水を行なってください。
 また、必ずお試しのうえ、お使いください。

⚠ 注意

- 食べ物ではありません。食べないでください。
- 子どもの手の届かないところ、ペット類が触れないところに保管してください。
- 目に入らないように注意してください。目に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 作業終了後は手や顔等を洗い、うがいをしてください。
- 施肥量、施肥濃度は目安ですので、お試しのうえお使いください。
 施肥量、施肥濃度は芝生の種類、生育状況、気象条件、用土、灌水方法、踏圧などにより異なります。
- 使用後は密封し、直射日光や湿気を避けて保管してください。
- 農薬との混合は、混合液が白濁、沈殿が発生していないか(散布機器の詰まりや肥効の衰えの原因)、散布後の芝生に葉害の有無を確認など必ずお試しのうえ、安全を確かめてからお使いください。
- 強いアルカリ資材(石灰類など)とは、混合しないでください。
- 製品の性質上、いくぶん色合いが異なったり固まる場合があります。
- 使用済みの空袋は放置せず適切に廃棄してください。



発売元

株式会社 ハイポネックスジャパン
 プロターフチーム

<https://www.hyponex.co.jp>

本社 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4-1-9 TEL 06-6396-0801